

# 平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	女性の再チャレンジ支援プログラム		
事業名	子育て等により就業を中断した女性のためのICTスキル・ビジネススキル養成講座の実践		
法人名	学校法人コア学園		
学校名	唐津ビジネスカレッジ		
代表者	理事長 門田 章	担当者 連絡先	木原 厚二 TEL(0955)77-1771

## 1. 事業の概要

子育て等により就業を中断した女性を対象に、事務職及びカスタマーサービス業に再就職をスムーズに移行できるようにするために、コールセンターとキャリアコンサルタント等と連携し、ICT基礎力、ネットワーク基礎力、トークスキル等のコミュニケーション能力、ビジネス能力等のスキル養成教育プログラムを開発し、講座を実施する。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

#### (1)資格取得

受講者はIT初心者が約半数を占めていたが、非常に意欲的に取り組み、一ヶ月の後半から講座終了後、補習者が3割を占めるようになった。終盤のPC検定試験は、受講生15名中、日商PC検定試験に11名が受験し、日商PC検定(文書作成)3級受験7名中合格者5名、日商PC検定(データ活用)3級受験7名中合格者6名で、有資格者が9名となった。受講者は意欲的に取り組んだ結果、高い合格率となった。

#### (2)OJT(オンザ・ジョブ・トレーニング)

講座の終盤にコールセンターのプロの講師をお呼びし、トークの基本から、リスニング、話法、クレーム対応を学習し、ロールプレイングを行う。その中で、コールセンター内を見学後、実地体験(リスニングなど)を実施した。このことで、コールセンターに就職をチャレンジしたい受講生が増え、就職意欲が高まった。

#### (3)研究発表会・成果報告会

講座の最終日、受講生一人一人がテーマを決め、PowerPointを活用したプレゼンテーション(発表会)を行う。絵本の紹介、故郷の紹介、趣味の紹介、子どもの紹介まで、審査委員からは短期間に仕上げたものとは思えないくらい、どれも画像を使って分かり易く、説得力があり、良い出来映えとの評価をいただく。事業の成果報告は2回開いた。

## ②事業により得られた成果

### 受講生のニーズにあった教育プログラム

受講生は、託児所、保育園、幼稚園、児童クラブに子どもを預けながら、一人の脱落者もなく15名全員が無事修了式を迎えることができた。このことは、3ヶ月間の講座でも、時間帯を配慮し、託児相談に載れる環境や託児経費負担を軽減すれば、十分受講が可能であることが証明できた。また、受講生の最終アンケート調査からも伺えるが、講師の資質も含め、パソコンの基礎から資格取得、及び社会人としての基礎から実践的(OJT)なことまで学べ、受講生のニーズ(社会復帰、再就職等)に沿った教育プログラムであったことが証明された。

## ③今後の活用

急速な経済環境の悪化で、家族を支える働き手の収入減はつづくことが予想され、益々、妻の再就職が必要とされる今、学びやすい環境に配慮した、再就職に有利な今回の教育プログラムを雇用対策の一つとして活用していただくよう、自治体、商工会議所、企業と連携し引き続き講座を実施したい。

## ④次年度以降における課題・展開

今回の事業は受講者の応募状況、選考面接、受講の感想・アンケート調査、受講の出欠状況を通し、子育て等で就業を中断した女性が社会復帰を目指し、あらためて学び直し、再就職を望む人が多いことがわかった。応募情報については、地域性があるかも知れないが、一番身近な集合チラシからの応募が一番多かった。また、出欠状況からは、子どもの行事や一番寒い時期が講座中にかかり、家族がインフルエンザなどにかかるとう受講生の母も欠席せざるを得ない状況があった。このことから、基本的なカリキュラムに大きな問題はないが、子どもの行事に重ならない時期や流行感冒の時期を避けるなど開催時期の考慮、応募情報媒体の選択、応募時の子どもの預かり相談窓口の充実など、今回以上の応募が見込まれると予想する。問題は、受講が修了し、就職活動をしている修了生が、雇用者側に受入れられる条件(休日、残業、預かり所、子どもの病気時の配慮など)が厳しい現実にある。しかし、潜在的な活力を埋もらせることなく、引き続き事業を継続することで、雇用者側に徐々に受入れる環境や理解が生まれることを期待したい。弊校は地域に開かれた専修学校として、幅広く人材育成を行う使命がある。これからも子育て等で就業を中断した女性が、自治体、団体、企業と連携し、再就職を促進する人材育成プログラムを、他校に先駆けてモデル校となるような成果を出して行きたい。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①履修証明書等

今回の実証講座を修了した受講生15名には、弊社独自の講座修了証書を授与した。また、講座が短期間であるため、ジョブカードの活用は予定していない。

### ②カリキュラムの内容

ニーズ調査から得られた結果、以下の人材育成プログラム(カリキュラム)を開発した。

【専門科目】:Word2007、Excel2007、PowerPoint2007-Windows Vista技術-ネットワーク、プライバシーポリシー、コンプライアンス等

【ビジネス科目】:ビジネス能力、ホスピタリティ・コミュニケーション能力、就職対策・指導等。

【外部講義】:現場の第一線で活躍されている方による講話

【OJT(On the Job Training)】:ビジネストーク実習(コールセンター)等

【卒業研究】:学んできたことを作品にして、プレゼンテーションを行う。

(2)資格試験

日商PC検定(文書作成)3級、日商PC検定(データ活用)3級

(3)講師、教材、時間割

上記カリキュラムの科目に対し、適切な教材の選択、専門講師の選出、時間割を設定する。

(4)成果物

資格取得状況報告書、調査資料報告書、成果発表時の評価報告書、卒業研究資料

### ③講座の実施

得られた人材育成プログラムを元に、以下の講座を実施した。

- ①テーマ 子育て中の女性向けICT・ビジネススキルアップ講座
- ②期間 平成20年12月8日(月)～平成21年2月26日(木)約3ヶ月 月曜日～金曜日(4時間/1日) ◆10:00～15:00 土・日・祝日休み(50分単位授業、10分休憩、昼1時間休憩)
- ③応募者23名、説明会&選考会を開き、15名を選考 選考会にはNPO法人唐津市子育て支援情報センター、フリービット(株)の実施委員にも参加していただき、託児所、保育園、幼稚園、児童クラブに預ける場合の相談やITスキル、受講意欲の確認を行う。
- ④講座内容 講義200時間 内訳、専門科目(132H)、ビジネス科目(20H)、外部講義(2H)、OJT(20H)、卒業制作・発表(23H)、その他入校式等(3H)

専門科目はITの基本操作からWord、Excel、インターネット、資格取得対策、プレゼンテーション、ネットワーク等の講座を行う。講座の締めくくりに卒業研究発表会は、講師、実施委員が審査委員になり、受講生一人ひとりがITを活用し、自由テーマにしたプレゼンテーションを行った。

受講者の反応は(アンケート調査より)は総じて、大変満足と答えており、各講師に大変感謝している。まとめると、託児所の準備や子育て支援相談、フリービットの現場のプロの講義、コールセンターの現場実習があつて実践的でとても良かった。また、パソコンは初心者でも親切丁寧に教えてもらえたこと、コミュニケーションの授業など勉強がこんなに楽しいものかあらためて認識。就職支援の授業では勇気をもって就職面接に挑むことができたこと。子育て中の仲間と苦楽ともにしたことで、励みになったことも大きな要因となった。

### ④支援対象者(受講者)の状況

修了生15名の就職状況は、2名が就職面接(コールセンター、地元自治体)を受験し、一人内定し、一人不合格であった。他ほとんどの人が就職を希望し、活動中であるが、休日や就業の時間帯、通勤時間等の就職条件は狭いなど、厳しい現実がある。しかし、へこたれることなく、就職活動を継続中であり、PC検定試験を受験もしくは合格に至らなかった数名が受験に強い意欲で取り組んでいる。修了生は各自順調に自分の道を歩みだした。